

■開催概要

- 大会名称 : MFJ承認ミニ・ロードレース 2023 鈴鹿Mini-Moto4時間耐久ロードレース
 - 開催場所 : 鈴鹿サーキット／フルコース(5.821km)
 - 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992
<https://www.suzukacircuit.jp/>
 - 開催日 : 2023年11月12日(日)
 - 天候／路面 : 曇り／ドライ
 - 開催クラス : 総参加台数／134台
 - HRC GROM Cup85台
 - KSRクラス6台
 - ST GROM クラス／Z125-STクラス23台
 - APE100&XR100 Motardクラス20台
- ※HOPPERクラスは大会規則に基づき不成立

【参加台数・人数】

2名で参加…61チーム
3名で参加…46チーム
4名で参加…27チーム
合計／134チーム・368名

※数字はプログラム上の集計のため、ライダー変更等のデータは反映されていません。ご了承ください。



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/



19年間にわたり、様々なバイクフリーク、レース好きを魅了してきたMini-Moto4耐

今回が開催最終年となった鈴鹿Mini-Moto 4耐。 19年にわたったお祭りのようなミニバイク耐久が無事終了!

「愛車でレースに参戦したいけれど、ミニバイクのため、大きいサーキットで開催されるレースがない」、「鈴鹿サーキットを走ってみたい」、「とにかく一度レースに出てみたい」、「耐久レースに出てみたい」…。そんなライダーの皆さんに気軽に参加していただけるイベント、それが鈴鹿Mini-Moto 4時間耐久ロードレース(以下、鈴鹿Mini-Moto 4耐)だ。

“バイクの祭典”と呼ばれ、多くの感動のドラマが生み出されてきた鈴鹿8時間耐久ロードレース同様、舞台は1周5.821kmの鈴鹿サーキットフルコース。鈴鹿8耐同様のル・マン式スタートをはじめ、レースフォーマットも本格的な耐久レースと同等のものに行われる…、「1/2鈴鹿8耐」と呼ばれる所以だ。それでいて、夫婦や親子、兄弟など、身近な人とチームを組んで気軽に参戦できるのがこのレースの特徴。数々の変遷を経て、現在では参戦対象となるマシンがストックのミニバイクまたはリーズナブルな価格で販売されている「HRC GROM」であるため、今回も多く参戦者・参戦チームがこのイベントのために集結。全盛期を彷彿とさせる134台が参戦した。

また、普段は全日本ロードレース選手権や鈴鹿サンデーロードレースで活躍するライダーからも多く参戦した他、かつて世界選手権GP125ccクラスを戦ったことがある加藤義昌さん、俳優の斉藤祥太さん、バイク好きタレントの葉月美優さんら、様々なバイク好き、レース好きがエントリーした。前日の11月11日(土)に開催された「FUN & RUN! 2-Wheels Full Course Special」とこの鈴鹿Mini-Moto 4耐にダブルエントリーしたライダーも多かった。

なお、2輪レースカレンダーの過密回避、このレースの参加に必要な各講習会、走行会、特別スポーツ走行などの機会を継続的に確保することが難しいなどの影響を考慮した結果、「1/2鈴鹿8耐」として2005年に始まった鈴鹿Mini-Moto 4耐は今シーズンが開催最終年となった。関連レースとして2024年からは鈴鹿サーキット南コースを舞台に行われている「Moto-Challenge Meeting!!」にて「GROM CUP」の開催を計画中だ。是非そのレースも楽しみにしていただきたい。



気の合う人と参戦できるお祭りのようなレースイベント、参加スタイルもそれぞれ、それがMini-Moto 4耐
写真は、北波さん親子(左から父親の伸一さん、長男の祐さん、三男の樹さん)と知人の八田邦孝さんが組んだ「伊賀II輪改 北波組+八田」
レースウィーンは娘さんの寧々さんがつとめた

A・Bグループに分けて行われた公式予選。 #76尾野郡司／吉原寅之介組が圧倒的タイムでトップ!

早朝8時15分より、134台がA・Bの2グループに分かれ、各67台の2セッションによる30分間ずつの公式予選がスタート。まずAグループのRider Blue 67名がコースへと突入していった。

各車のアタックは#67中谷健心が3分23秒607をマークして始まった。しかし、すぐに#3佐藤大輔が3分16秒421、#30金子美寿々が3分20秒034、#55覚幸和久が3分23秒601をマークしてタイミングボードの順位が入れ替わる。#3佐藤は3分14秒892をマークして自己ベストを更新。その時点での2番手タイムは#30金子の3分16秒349。それに#49知識隼和の3分16秒685、#67中谷の3分17秒945と続く。#30金子が7周目に3分14秒378をマークしてタイミングボードのトップに。そのタイムがAグループのトップとなり、#3佐藤の3分14秒892、#49知識の3分15秒468と続いた。

続いてBグループのRider Blue 67名がコースへ。アタック1周目に#79西丸直希が3分17秒004をマーク。3分14秒376をマークした#99福井宏至、3分14秒584をマーク

した#76尾野郡司がそれを上回る。#68佐貫良太が3分13秒677をマークしてタイミングボードのトップに。しかし、すぐに#76尾野が3分12秒997をマークしてそのタイムを上回る。#79西丸が3分13秒593をマークして2番手に。#76尾野が3分12秒558をマークして自己ベストを更新。#76尾野はさらに3分11秒662をマークする。コースレコードを更新したそのタイムがBグループのトップとなった。

A・Bグループの合算により、#76尾野郡司／吉原寅之介組、#79西丸直希／山内健太組、#68佐貫良太／寺田誠組、#99福井宏至／原田悠平組、#30金子美寿々／花房一樹組、#3佐藤大輔／上野昭弘／寺井健二組のオーダーでレ・マン式によりスタートすることとなった。



予選は手堅く4番手を確保した#99 FCC TSR HONDAの原田悠平(左)と福井宏至、レースは総合、クラスともに優勝を果たした。

ポールスタートのチームがコースインラップにまさかの転倒! 最後のレースで # 99福井宏至 / 原田悠平組が通算5勝目を飾る!!

ポールポジションスタートの#76吉原(尾野郡司 / 吉原寅之介組)がコースインラップで転倒、ポールシッター不在のスタートとなった。ル・マン式により、12時ジャストにレースがスタート。前半の67台に続き、30秒の時間差で後半の67台も1コーナーへと飛び込んでいく。

#49知識(知識隼和 / 亀井駿組)、#99福井(福井宏至 / 原田悠平組)、#67中谷(中谷健心 / 富田一輝組)、#3佐藤(佐藤大輔 / 上野昭弘 / 寺井健二組)、#79西丸(西丸直希 / 山内健太組)、#675藤田(藤田悠希 / 鈴木壮大組)のオーダーでオープニングラップを終了。#49知識と#99福井が激しく順位を入れ替えるバトルを展開。#67中谷も積極的な走りを披露する。3周目になると早くもバックマーカーが出現。その後はバックマーカーをうまく処理しながら8台がトップグループを形成する。そこから#68佐貫(佐貫良太 / 寺田誠組)と#99福井が抜け出すことに成功。しかし、#3佐藤、#67中谷、#79西丸が再びトップ集団に加わり、5ワイド状態で14周目の1コーナーへと飛び込んで行く。

54分が経過する頃、西コースで雨が降り始めるが、路面を濡らすまでの勢いはない。1時間が経過する頃、トップグループの中ではまず#3佐藤がピットイン。上野にライダーチェンジする。次のラップでは#68佐貫、#67中谷、#99福井、#79西丸がピットに入り、それぞれ寺田、富田、原田、山内へとライダーチェンジ。

1回目のライダーチェンジ後は#68寺田が一時的にトップ集団を抜け出すことに成功したが、#99原田がその#68寺田をパスしてトップに。昨年のウィナー#31中澤(牛場一磨 / 中澤皓平組)が2番手に浮上。しかし、#31中澤は#49亀井、#67富田、#79山内の先行を許す。#99原田の若干後方で#31中澤、#49亀井、#67富田、#79山内の4台がその後もテールtoノーズのバトルを展開する。

2時間が経過した頃、トップ集団から遅れた#68寺田がピットに入り、佐貫にライダーチェンジするが、アウトラップでその佐貫が転倒。#31中澤もピットインし、牛場に代わる。続いて#99原田、#49亀井、#67富田、#79山内もピットに入り、それぞれ福井、知識、中谷、西丸にライダーチェンジする。状況が落ち着くと、#99福井、#67中谷、#31牛場の3台がトップ集団を形成するが、#31牛場がいち早く最後のピットイン。中澤がコースに復帰する。続いて#99福井がピットに入り、原田にライダーチェンジ。原田はファステストラップを更新しながらラストスパートを掛ける。それと同じ頃、トップを走る#67中谷がピットに入り、富田にライダーチェンジする。

トップチェッカーを受けたのは#99 FCC TSR HONDA(福井宏至 / 原田悠平組)。福井 / 原田組は同じペアでこれまでに4勝を飾っており、今回が5回目の総合優勝となった。



ST GROM クラス / Z125-ST クラス表彰式

優勝: # 99 FCC TSR HONDA (福井宏至 / 原田悠平) 2位: # 1 TEAM KAZUKI + AK1TECH + Micasa Trd (鏗田のぞみ / 木村優友 / 永井優那) 3位: # 72 Grip + 建設ヨシオカ + アローポイント (大西克尚 / 吉岡洋一 / 矢崎敬志)

Mini-Moto 2023

SUZUKA 4hours

鈴鹿Mini-Moto4時間耐久ロードレース

19年間
ありがとうございます



HRC GROM Cup 表彰式

優勝: # 31 ワイエス精機KZexpress (牛場一磨/中澤皓平) 2位: # 49 MORIWAKI RACING (知識隼和/亀井駿) 3位: # 3 speed Heart+チームマムシ (佐藤大輔/上野昭弘/寺井健二)



APE100 & XR100 Motardクラス表彰式

優勝: # 11 NICE & voice & Grip細い方 (岡田純一/岡田京旺/山崎陽司) 2位: # 217 ち〜むMD☆倉内モータース (今森洋良/福田雄一郎) 3位: # 94 TEAM T-TECH & (株)エコサポート (大谷匡史/松浦幸大/入江高伸/鎌苅絢音)

SUZUKA Mini-Moto 2023

4hours

鈴鹿Mini-Moto4時間耐久ロードレース

SUZUKA Mini-Moto 2023

4hours



KSRクラス表彰式

優勝: # 88 マックウェスタン&NOW-WEST(今西晃士/伊吹怜真/杉本功) 2位: # 6 ブルーポイント(辰巳保夫/里征史/増田明則) 3位: # 78 MADDEST(田原雅仁/谷川正人/小林誠)



19年間の感謝を込めて



腰山峰子さん、桑山絵美さん、林香織さん、植田美香さんというバイク女子4人で参戦した「misolution feat.バイク女子部」、結果は61周で108位



「鈴鹿サーキットは大好きなコース。鈴鹿Mini-Moto 4耐がなくなってしまうのは寂しいですね」と話す加藤義昌さん。かつての全日本GP125チャンピオンで、世界グランプリも戦ったレジェンドライダー、結果は67週の30位